

第1学年 学級活動（3） 指導案

2024年12月4日（水）

第1学年〇組 32名

豊かに生きる力の育成 ～自分を知り「なりたい自分」に近づくキャリア教育の実践～

1 題材名 「りっぱな1ねんせいをめざして」

（学級活動（3）一人一人のキャリア形成と自己実現

ア現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成）

2 評価規準

	よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
題材の 評価規準	希望や目標をもつこと、働くこと や学ぶことの意義を理解し、自己 実現を図るために必要な知識や行 動の仕方を身に付けている。	希望や目標をもつこと、働くこと や学ぶことについての課題を知 り、解決方法などについて話し合 い、自分に合った解決方法を意思 決定して実践している。	現在及び将来にわたってよりよ く生活するために、見通しをも ったり振り返ったりしながら、 自己のよさを生かし、他者 と協働して、自己実現に向けて 進んで行動しようとしている。

3 本単元のねらいと基礎的汎用的能力と育成すべき資質・能力の3つの柱との関連

低学年の基礎的汎用的能力（夢4）		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
人や社会と 関わる力  【人間関係形成・ 社会形成能力】	・自分の思いを 友達に伝える 力		希望や目標をもつこと、 働くことや学ぶことにつ いての課題を知り、解決 方法などについて話し合 っている。	現在及び将来にわたってよ りよく生活するために、他 者と協働して、自己実現に 向けて進んで行動しようと している。
自分を みつめる力  【自己理解・ 自己管理能力】	・周りからよい ところを教え てもらい、自分 のよさに気付 く力		希望や目標をもつこと、 働くことや学ぶことにつ いての課題を知り、自分 に合った解決方法を意思 決定している。	自己のよさを生かし、他者 と協働して、自己実現に向 けて進んで行動しようとし ている。
課題を やりぬく力  【課題対応能力】	・自分のめあて をもって実行 する力	自己実現を図るために必要 な知識や行動の仕方を身に 付けている。	自分に合った解決方法を 意思決定して実践してい る。	見通しをもったり振り返っ たりしながら、自己実現に 向けて進んで行動しようと している。
次につなげる  【キャリア プランニング能力】	・自分の課題に 気づき、次に生 かそうとする 力	希望や目標をもつこと、働 くことや学ぶことの意義を 理解している。		現在及び将来にわたってよ りよく生活しようとしてい る。

※キャリア教育と関連が密接なものは**ゴシック体・太字**

4 部会提案

(1) 児童の実態と単元観

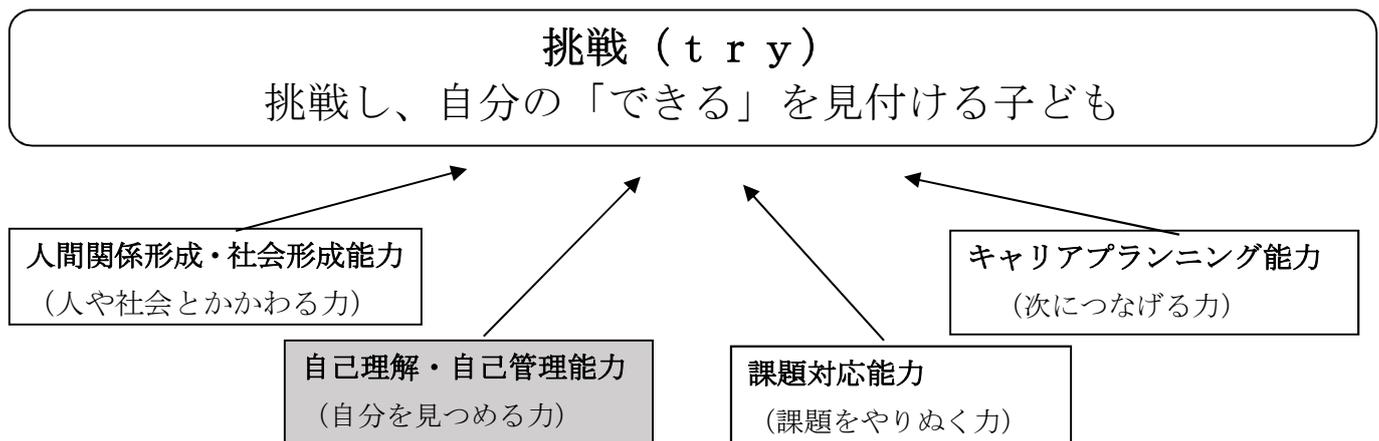
本学級は、生活科や学級会でやってみたいことを話し合い、実現し振り返ることを通して、何事にも挑戦することに楽しみや期待感をもって活動できる。発想が豊かで、五感を最大限に使い思い切り活動することを楽しむことができる。まだ自分本位の考え方や行動が残るが、学級会や道徳の話し合いの中で相手や学級といった他者に対しての気付きをもったり、思いを至らせたりできる児童も増えてきた。

5月には学級目標について話し合い、「どんな1年生になりたいか」「どんなクラスにしたいか」を考え、「みんなのちからをあわせてなかよく(はじめてのことにもにがてなことも)がんばれるクラス」とした。学級目標については、学級会や学校生活において達成すべき目標として立ち戻るべき拠り所として意識させることで、生活の中で目標を意識する児童の発言がある。

7月にキャリアの4つの力に対するアンケートを実施し、どの項目も概ね肯定的な回答が多かった。「自分の良いところがある」の項目への肯定的回答が最も低く、同時に「直した方がよいところがある」児童も多い。自分の良さよりも自分の課題に注目している児童が多い傾向があると分かる。それは、「自分の考えや気持ちを相手に伝えることができる」「友達の気持ちを考えることができる」のポイントが低いことから、関わりの中で見えてくるはずの自分の良さが、自己中心的な考え方や、関わり方の技能の未熟さによって、うまくいったという実感を伴う経験として積み重ねられずにいると考えられる。見落とせないのが、何より1年生でクリアしていきたい「自分のことは自分でしている」に対してのポイントの低さである。手伝ってもらい、助けてもらって自分は生きているという気持ちの裏返しとも考えられるが、難しそうなことにも挑戦し「自分にできそうなことは自分でやってみる」チャレンジ精神を養いたい。そのことが、後に、見通しが暗いことから逃げず、何事にもしなやかに対応していくことのできる態度を支えていくことにつながっていくと考えられる。

その結果と考察を受け、2学期は次のような手立てをとった。授業の中で自分の考えをもち、適切に表現する場面、目的を意識してグループで話し合う場面、自分ができるようになったことを振り返ったり、他人の良さに目を向けたり、認め合ったりする場面、そして集団の中で自己を生かせる場面を意識的に増やしてきた。特に国語科や算数科で考えを伝える学習を重ね「自分の考えや気持ちを相手に伝えることができる」「友達の気持ちを考えることができる」の補強を、帰りの会で友達の良さに目を向けて発表する機会を設け「自分の良いところがある」への道筋とした。そして今回、学級活動の学習で「自分にできることは自分でやる」ことに対してなりたいたいの姿を明確にもって、達成に努め、できたことを振り返る学習を設定した。立派な1年生の共通イメージを希望として、3学期をそれぞれ意義のある時間とするための方法を自分で決め、達成に向け努力を重ねてほしい。意思決定を大切に、達成に向けて努力することがめぐりめぐって「自分の良さ」への気付きにつながるものとする。3学期の生活科の「1年生の1年間の成長を振り返る」学びがより深いものになることを期待している。

(2) 低学年の目指す児童像と本単元で重点となる基礎的・汎用的能力



(3) 「自己理解・自己管理能力」に迫るための手だて

<p>【手だて1】: 「なりたい自分」をイメージしやすくするために</p> <p>○ アンケートを活用する</p> <p>特にどんな点で「自分で自分のことをする」ようになりたいのかについてのアンケートで立派な1年生＝なりたい自分への具体的なイメージを共有できるようにする。</p> <p>○ 夢4キャリアタイムの積み重ね</p> <p>2学期の目標を立てる際には、できる限り数値化させたり、具体的な場面をイメージさせたりできるように指導をした。1か月ごとに自己を振り返ると共に、目標自体も見直しをさせ、より個に合った課題となるようにキャリアカウンセリングを行ってきた。それに伴い、「1年生のわたし」カードも1年生が使いやすくなるよう模索した。自分にぴったりの目標を立てて達成する喜びを重ねていくこと自体を、「なりたい自分」を明確にし、より良い意思決定につなげる。</p>	<p>【夢4】</p>  
<p>【手だて2】: 実践(=挑戦)への意欲付けとなるようにするために</p> <p>○ 1・2学期の出来事</p> <p>これまでの学級の歩みを掲示し、できるようになったことや頑張ってきた様子、成長の様子を振り返り、一人ひとりが「頑張ってきた自分」やその上にある「なりたい自分」について考えられるようにする。</p> <p>○ 頑張りカードの活用</p> <p>毎日頑張りカードに振り返りを記入し、2学期の最後に自分の頑張りを振り返り、達成感を得、3学期の目標設定に生かせるようにする。</p>	<p>【夢4】</p> 

5 活動及び指導と評価の計画

	日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
事前	11/8	<ul style="list-style-type: none"> アンケートに答える。「自分のことは自分でしているか」のアンケートを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が頑張れたこと、もう少し頑張りたいことへの意識を高めておく。 	<p>【主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度】</p> <p>アンケートを記入し、自己を振り返っている。(観察・アンケート)</p>
本時	12/4	「本時の活動」参照	「本時の活動」参照	「本時の活動」参照
事後	夢4キャリアタイム	<ul style="list-style-type: none"> 意思決定しためあてを意識して実践する。 実践したことについて振り返り、互いに実践を確認し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりのめあてを夢4ファイルに綴じ、振り返る機会をもつことで、実践意欲の持続への動機付けとなるようにする。 	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>意思決定したことに粘り強く取り組んでいる。</p>

6 本時の学習(1時間扱いの1時間目)

(1) 本時のねらい

なりたい自分を達成するために、自分に合った目標を立てる。

(2) キャリア教育の重点

◎自分の考えを伝えたり、相手の思いを受け止めたりすることを通して、なりたい姿に対しての自分を課題を見つめ、自分に合った解決方法を意思決定し挑戦する力を育てる。【自己理解・自己管理能力】

(3) 本時の展開

段階	学習活動	教材, 教具, 学習形態	指導・支援 (○) 評価 (●)
導入 5分 つかむ	<p>1 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">りっぱな1年生になるために、がんばることをきめよう。</div> <p>何ができたら立派な1年生なのだろう 今足りないことは何だろう。</p> <p>①アンケート結果を知る。 ・朝の準備を時間内にできる。 ・次の日の準備をやる。 ・忘れ物をしないようにチェックする。 ・片づけをする。 ・宿題をやり始める。 ・朝起きる。 ・途中で声をかけてもらっている。 ・最後確認してもらっている。 ・「やりなさい」と言われてからやっている。</p> <p>②原因について意見を出し合う。 ・途中で自分がやりたいことをやり始めてしまうから。 ・忘れていないか心配になるから。 ・やることを忘れてしまうから。</p>	<p>・1・2学期の振り返り(掲示)</p> <p>・アンケート結果</p>	<p>○小学生になってできるようになったことも紹介する。</p> <p>○アンケートの結果を見て、「自分でできるようになりたいこと」をつかむ。</p> <p>○アンケートの記述内容に触れ、友達もつ思いを感じられるようにし、同じ考えの場合は挙手させ、自分の問題として捉えられるようにする。</p> <p>○「自分から」「続けて最後まで」を意識させる。</p>
展開 35分 さぐる	<p>2 解決策の話し合いをする。</p> <p>・ランドセルのものを全部出して、ランドセルをロッカーにしまうところまでしゃべらないでやると良い。 ・次の日の準備を宿題が終わったらすぐやる。連絡帳を見てひとつずつそろえてやると良い。終わっても、もう一回見直す。連絡帳を正確に写すのも大事。 ・使い終わったら、使い終わったものをすぐに片付けると良い。置く場所を決めておいても良いかも。 ・やらなきゃいけないことを順番に考えるといいかもしれない。ゲームは後回しにして、先に宿題を最後終わるまでやりきるといい。</p>	【グループ】	<p>○できている児童に、全体でできるコツを聞きいつ、どのようにやるのかを共有してから、グループの話し合いを始める。</p> <p>○話し合いを早く終えたグループには短冊に考えを書かせる。</p>
みつける	<p>3 解決へのアイデアを共有する</p>	【全体】	<p>○なりたい自分に近づくためにできることを出し合う。</p>
終末 5分 きめる	<p>5 個人目標の意思決定 みんなで話し合った方法の中から、自分の目当てとすることを決め、計画を立てる。具体的に「いつ」「何を」「どのように」取り組むのかをカードに記入する。</p>	【個人】 がんばりカード	<p>○自分が実践できるよう、具体的な内容を書くように伝える。</p> <p>●自分の問題に合った可能な取組や方法を決めている。 【思考・判断・表現】</p> 

7 板書計画

りっぱな1年生になるために、がんばることをきめよう。

つかむ

アンケート

さぐる

みつける

まとめる

- ・あさのじゅんぴをおわらせる。→きたらすぐ、ランドセルをしまう。おわるまで、しゃべらない。
- ・つぎの日のじゅんぴ。→せいかくにうつす。
- ・わすれものをしないようにする。→しゅくだいのあとにじゅんぴ。みなおして、げんかんにおく。
- ・かたづけをする。→おくばしよをきめる。つかいおわったらすぐにかたづける。
- ・しゅくだいをじぶんからやる。→かえったらすぐにらんどせるをあける。しゅくだいをやってからつぎのことをする。
- ・よいしせいをつづける。→あいさつときのしせいに気をつける。はなしている人の目を見る。とちゅうでお手本の人を見る。
- ・気もちをきりかえる。→やらなければならないことはなにかかんがえて、こうどうをかえる。

8 実践を終えて

成果

- ・自己分析が進み、自分を見つめて振り返る習慣が付き、すぐには肯定的な回答にならなくなった。
- ・4つの力に基づいたアンケートを行い、現状把握に役立てるとともに、授業づくり、授業前後の変容の把握と活用することができた。
- ・子供の意見を記録した座席表の活用により、授業前後及び授業内での児童の変容を見ることができ、その大切さがわかった。

課題

- ・話し合い活動を取り入れたが、子供たちだけで豊かな話し合いをすることが難しかった。話し合うスキル等、基本となる技能をつけることが必要だと分かった。
- ・今回のような自分の目標を決める学級活動を、他の学年でも積み重ねていきたい。